

令和3年度

令和3年10月4日 第6号



梧中だより

作成者：荒川区立第五中学校長 岡本 芳明

「緊急事態宣言」の解除にあたり

校長 岡本 芳明

10月1日（金）よりこれまで長期間発出されてきました「緊急事態宣言」「まん延防止等重点措置」が解除されました。今日から飲食店の営業形態や旅行などの他県への移動制限、また、文化・芸能・芸術・スポーツ・娯楽施設等の営業形態、イベント形態についても制限や規制が多少緩和されることとなります。コロナ禍で経済的にも苦しんでいたこのような業界の方々にとっては少し希望が見えてきたことと思います。しかし一方では宣言の解除によって気持ちが緩み、感染が拡大が再び起こること（第6波）が懸念されています。学校生活においてもこれまでの感染拡大防止対策を継続していく事になりますので気を緩めず日常の「小さなこと」を疎かにせず日々の生活を送りましょう。

モラロジー道德教育財団の月刊誌「ニューモラル」に「小さなことに心を向ける」という題名でとても良いお話が掲載されていたのでご紹介いたします。

○「小さなこと」はなぜ大事？

今、私たちが暮らしの中で見るもの、聞くもの。その多くは「小さなこと」といえるかもしれませんが。ところが、これを見過ごしていると、やがて「大きな結果」を招くことになるという面もあるのではないのでしょうか。こんな話があります。

建物の窓ガラスが一枚割れているのを放置すると「この建物は誰も注意を払っていない」というサインになるといわれます。すると窓を割ることへの罪悪感が薄れ、ほかの窓も割る人が出てきます。さらにはゴミが捨てられていたりして建物全体が荒廃し、犯罪の温床となって、地域の環境を悪化するというのです。

これは「割れ窓理論」と呼ばれるもので、犯罪防止のためには「小さなきっかけ」を放置しないことが大切であるとされています。

犯罪というほど重大なことにつながるとは思えなかったとしても、同じようなことは、私たちの身の回りでも起こり得ます。例えば、自宅近くの道端に小さなゴミが落ちていたとき。学校や職場のトイレが汚れていたとき……。まず、目に映った小さなゴミや汚れを意識するかどうか。さらにはその後、どんな行動を取るかが問われるのではないのでしょうか。

最初はちょっとしたきっかけだったとしても、「小さなこと」が積み重なると、問題は大きくなっていきます。「このくらい、大したことはない」という心の隙こそ大敵である、といえるのかもしれませんが。



○「おろそかにしない」という心の姿勢

「小さなこと」をおろそかにしないという心の姿勢の大切さ。それは「よくないことを放置しない」というだけでなく、日常生活の中で「小さな善事の実践」についてもいえることです。

世の中で起こる出来事は、よいことも悪いことも一朝一夕に成ることはなく、長い年月にわたる「小さなこと」が積み積み積もって「大きな結果」が生じるものです。

私たちは身近なところで繰り返し行う小さな行為ほど、軽視してしまいがちではないでしょうか。しかし、日々しっかりと心掛けて継続して行ってこそ意義があることも存在するはずです。

例えば、日常の感染症対策。手洗い・うがいも、マスクの着用も、密を避けて行動することも「小さなこと」のようではあります。自分一人が真面目にやったところで、何も変わらないように思えることもあるかもしれません。しかし、その「小さなこと」を「大したことではない」と思わずに一人ひとりが実践していく事が大切なのでしょう。同様に、ゴミを拾ったり、相手を思いやる言葉がけをしたり、誰かの手助けをしたりといった日ごろの小さな行いも、自分自身の心豊かな人生を築いくうえで大切なことといえるのではないのでしょうか。

出典：モラロジー道徳教育財団 発行 「ニューモラルNO. 626号」

新型コロナ・ウイルスに関しては未知な部分が多く、今回の感染者数の減少についてもはっきりとした原因、科学的根拠が分からないといわれております。ワクチンの接種が進んだ、感染の急拡大によって人々の行動意識が変化した（以前にも増してマスクの着用、手洗い、密を避ける等の行動）、ウイルス自身の崩壊等、専門家の間でも様々な考えが示されていますが、これから新型コロナ・ウイルスの感染状況がどうなるかは分かりません。そのような中で私たちが感染防止としてできることは、これまでやってきたこと「小さなこと」（マスクの着用、手洗い・うがい、密を避ける行動）を確実に実践していく事です。

○連合体育大会代表候補選手記録会 9月17日（金）

9月22日（水）に開催予定でした区連合体育大会は今年もコロナ禍の関係で残念ながら中止となりました。暑い夏休みから練習を重ねてきましたがその成果を発表する場がなくなってしまったので、指導にあたってきた先生方から「何とか練習の成果を発表する場をつくってほしい」という要望があり、五中独自で記録会を実施することにしました。この記録会での記録を基に本校から3名の生徒が東京都大会へ出場することが決定しました。選出された生徒は荒川区の代表として活躍することを楽しみにしています。



東京都大会出場選手	神林 美羽（2年）	種目	1.2年女子砲丸投げ	記録	9m15
	中島 龍之介（3年）	種目	3年男子100m走	記録	11秒82
	田子山 幸太（3年）	種目	共通男子200m走	記録	25秒19

○生徒会役員選挙

10月8日(金)に令和2年度生徒会役員選挙が行われます。いよいよ生徒会活動が3年生から1、2年生へバトンタッチされます。次代の生徒会を担う生徒会執行部に以下の生徒が立候補し、それぞれの立候補者を応援する応援弁士も決まりました。生徒会役員選挙までの選挙運動期間、それぞれの候補者が考えるより良い五中の未来像をしっかりと示し他の生徒に伝えていきましょう。

・立候補者及び応援弁士

役職	立候補者氏名	所属	応援弁士
会長	小野田 芯太	2年2組	飯田 陽乃介
副会長	小口 舞花	2年2組	大田 和花
	櫻木 龍之介	1年3組	田口 瑛太
執行委員	田中 凜	2年2組	河合 美羽
	有岡 ゆう	1年2組	岡田 瑞葵
	田中 妃奈恵	1年1組	中澤 心菜

○運動会の実施について

令和3年度の運動会は緊急事態宣言が解除されましたが、まだまだ感染再拡大等の心配があります。本年度の運動会も感染拡大防止に留意しながら、昨年度と同じような形式で実施する予定でおります。保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

【運動会実施概要】

1 実施する競技種目

〈個人種目〉短距離走、100m走、200m走、800m走、1500m走、障害物走

〈選手種目〉クラス対抗リレー

〈団体種目〉全員リレー

各学年種目 ・1年 台風の目 ・2年 大縄跳び ・3年 大ムカデ

※新型コロナウイルス感染状況に留意しながら形式は変更する。

〈男女別特別種目〉 ・男子集団行動 ※2, 3年生のみ

・女子ソーラン節 ※2, 3年生のみ

※間隔を十分とった隊形での演技を工夫する。

2 実施を取りやめる競技種目 ・色別棒引き ・部活動対抗リレー ・PTA来賓レース

3 来賓・保護者等の観戦(参観)に関すること

- ・保護者の観戦については1家庭につき2名までとする。
- ・参観される保護者の方については事前に「健康カード」を配布し必要事項(体温、健康状況等)記入し、当時の受付に提出する。
- ・ご来賓、卒業生の参観は無しとする。
- ・高齢者席は設けず、京成線の線路側のみでの観戦とする。

○教育実習生の紹介

10月4日（月）から3週間、2名の実習生が五中での実習を行います。ここ数年、教員を志望する学生数が減少しているのが課題となっておりますが、2名の実習生には五中で3週間の実習をおし、教員としてのやりがいや楽しさ、辛さを経験し生徒の健全育成に貢献できる教師を目指してほしいと願っています。

実習生氏名	教科	教科・学級指導	担当学級
飯島 康介（いじま こうすけ）	保健体育	九石主幹教諭	3年1組
高久 竜盛（たかく りゅうせい）	養護	黒川主幹教諭・和田教諭	2年2組

○秋季大会（新人戦）の熱戦

各部活動では、これまで部活動の中心となり活躍してきた3年生が引退し1、2年生の新チームでの活動が始まり秋季大会（新人戦）が始まりました。先輩から受け継いだこれまでの伝統をさらに発展させよい成果を上げることが願っています。

<これまでの戦績>

・野球部（第三中と合同チームで出場）

第五ブロック準決勝敗退（ベスト4）

・ソフトテニス部 女子個人戦
女子団体戦

齋藤 唯衣・八柳 よな ペア 第3位
準優勝 ※都大会出場



○10月行事予定

1日（金）都民の日	18日（月）生徒会朝礼
4日（月）全校朝礼 避難訓練 教育実習始	運動会予行前日準備
5日（火）歯科検診	19日（火）運動会予行①～④ 予行反省
6日（水）荒教研（教科外）45分×5	22日（金）運動会前日準備⑤⑥
8日（金）生徒会役員選挙・立会演説会 英語検定	23日（土）運動会 ※24日（日）予備日
11日（月）学校公開週間始	25日（月）振替休日
13日（水）職員会議	26日（火）各種委員会
15日（金）第2回進路説明会（3）	27日（水）中央委員会
16日（土）土曜授業公開日 給食有 第2回新入生保護者説明会 英語スピーキングテスト（3）	28日（木）区連合英語発表会 （会場：サンパール荒川小ホール） ※3年生のみ出場